

カリキュラム・ポリシー(CP)	入学前 教育	1年次前期	1年次後期	2年次前期	2年次後期
※本学は、Ⅰ教養、Ⅱ原理、Ⅲ知識・技能、Ⅳ実践の4科目群を配置しています	基礎学力・グループワーク4種・生活習慣の記録と省察・専門職の学びへの期待	キリスト教概論Ⅰ-1-1	キリスト教保育Ⅰ-1-2（Ⅱ-5-2）		キリスト教倫理Ⅰ-1-3 日本国憲法Ⅰ-1-4
Ⅰ 教養は、キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を養うための科目		キャリアデザインⅠ (幼稚園保育体験、保育・福祉ふれあい体験)	キャリアデザインⅡⅠ-2-1Ⅰ-3-1-1	キャリアデザインⅡⅠ-2-2（Ⅰ-3-1-2）	体育理論・体育実技Ⅰ-2-3
		ハンドベルⅠ※Ⅰ-3-3-1	ハンドベルⅡ※Ⅰ-3-3-2 リトミック※Ⅰ-3-4	英語コミュニケーションⅠⅠ-3-2-1	英語コミュニケーションⅡⅠ-3-2-2 ハンドベルⅣ※Ⅰ-3-3-4 ※は選択科目 パイプオルガン※Ⅰ-3-5-2 造形遊びⅡ※Ⅰ-3-6-2 手話※Ⅰ-3-7
		保育原理Ⅱ-5-1	子ども家庭福祉Ⅱ-4-3		教育原理Ⅱ-5-3 教育政策と社会（児童の権利）Ⅱ-4-6 保育者論Ⅱ-5-4
Ⅱ 原理は、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養うことができる科目		社会福祉Ⅱ-4-1	子ども家庭福祉Ⅱ-4-3	障がい者福祉論※Ⅱ-4-4 高齢者福祉論※Ⅱ-4-5	
		社会的養護の原理Ⅱ-4-2	特別支援保育ⅠⅢ-6-1-2-1	特別支援保育ⅡⅢ-6-1-2-2	
		こども支援ソーシャルワーク※Ⅱ-4-7	社会的養護の内容Ⅲ-6-1-1 障がい児・者支援の方法※Ⅲ-6-1-3	子ども理解と保育Ⅲ-6-3-3	子ども家庭支援論Ⅲ-6-3-5
		保育の心理学Ⅲ-6-3-1	子ども家庭支援の心理学Ⅲ-6-3-2	保育方法Ⅲ-6-2-5	
Ⅲ 知識・技能は、子どもと子どもを取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目		保育内容「健康」 保育内容「人間関係」 保育内容「環境」 保育内容「言葉」 保育内容「表現」	保育内容の総合的指導法「健康」 保育内容の総合的指導法「人間関係」 保育内容の総合的指導法「造形表現」 保育内容の総合的指導法「身体表現」 保育内容の総合的指導法「音楽表現」	保育内容の総合的指導法「環境」 保育内容の総合的指導法「言葉」	幼児教育と情報機器Ⅲ-6-2-6
		子どもと音楽Ⅲ-6-2-7	子どもと音楽Ⅲ-6-2-7		
		乳児保育ⅠⅢ-6-1-4-1	乳児保育ⅡⅢ-6-1-4-2	子どもの健康と安全Ⅲ-6-1-6	子どもの食と栄養ⅡⅢ-6-1-7-2
		子どもの保健Ⅲ-6-1-5		子どもの食と栄養ⅠⅢ-6-1-7-1	
Ⅳ 実践は、身につけた価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積む中で学び直し、キャリア形成の基礎を培うことができる科目		保育実習指導ⅠⅣ-7-1-1	保育実習Ⅰ(保育所)Ⅳ-8・9・10-1-1 保育実習Ⅰ(施設)Ⅳ-8・9・10-1-2	保育実習指導ⅡⅣ-7-1-2	保育実習Ⅱ(保育所)Ⅳ-8・9・10-1-3 保育実習Ⅱ(施設)Ⅳ-8・9・10-1-4
		教育実習指導(幼稚園)Ⅳ-7-2		教育実習(幼稚園)Ⅳ-8・9・10-2	保育・教職実践演習(幼稚園)Ⅳ-8・9・10-3
		国際ナショナルフィールドワーク※Ⅳ-10-4		国際ナショナルフィールドワーク※Ⅳ-10-5	
		災害と保育※Ⅳ-10-6		災害と保育※Ⅳ-10-7	
		課外活動：ボランティア活動（子育てひろば「すまいりい」「はっぴい」、オレンジリボン活動等）、WILL-ともに語ろう-等			
ディプロマポリシー(DP)		1. 保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、基礎学力、幅広い教養、礼節を身につけ、多世代にわたる人々の人権を尊重できる。 2. 保育・福祉に関する専門的な学修を通じて、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 3. 保育・福祉の専門的な価値観、知識・技能を修得し、自ら考える力、自ら行動する力、コミュニケーション能力を身につけている。 4. 保育・福祉の専門職として多角的な視点を持ち、共生社会の実現に向けて主体的かつ自律的に学び続け、愛と奉仕の精神を実践できる。			
スクールモットー		愛と奉仕			
建学の精神		キリスト教信仰に基づく教育と人格形成			